

偽造防止処理を施した「日本産果実マーク」シールの利用状況に関する調査報告

「令和5年度品目団体輸出力強化緊急支援事業」のうち
「日本産果実マークに偽造防止処理を施したシールを活用した日本産青果物宣伝事業」

2025年3月11日
日本流通管理支援機構株式会社
数田陽子

目次

- はじめに
- アンケート結果の概要
- アンケート項目ごとの回答結果
- 使用事例紹介
 - 一般社団法人青森県りんご対策協議会
 - 山梨県果実輸出促進協議会
 - 株式会社アライドコーポレーション
- 結論

はじめに

アンケートの目的

シールの運用やその品質の向上を目指すための改善点を明らかにするため

調査対象

シール配布予定先 10社

(株式会社アライドコーポレーション、日本園芸農業協同組合連合会、ノルデックス株式会社、一般社団法人青森県りんご対策協議会、山梨県果実輸出促進協議会、株式会社ネイバーフッド、三重県農林水産物・食品輸出促進協議会農産部会、全農インター、Wismettacフーズ株式会社、イースト)

実施期間

2024年9月、2025年2月

アンケート方法

オンライン

アンケート結果の概要

回答

- 回答数:6団体(計8回)
※9月と2月のどちらも回答いただいた先は2回目の回答を結果に反映しています。自由回答部分はどちらも反映しています。

回答者の属性

- 回答いただいた団体名や企業名は以下の通りです:
 - 株式会社秀果園
 - 三重県農林水産物・食品輸出促進協議会農産部会
 - 株式会社アライドコーポレーション
 - 一般社団法人青森県りんご対策協議会
 - GLO-berryJapan株式会社
 - 山梨県果実輸出促進協議会

アンケート項目ごとの回答結果

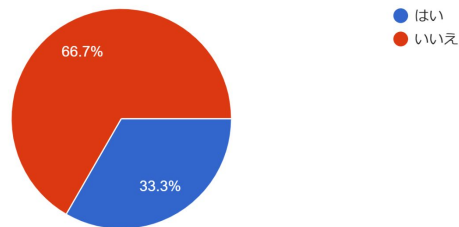
1. 「日本産果実マーク偽造防止シール」の上の部分のQRコード部分を読み込んでいただくと日本産青果物の情報が得られ、下の部分の日本産果実マークは専用アプリで読み取ることで正規品証明ができます。上下のコードで内容が異なることはご存知ですか？(N=6)

- 「はい」と回答した方: 2名
- 「いいえ」と回答した方: 4名

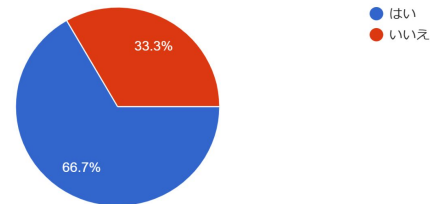
2. 「日本産果実マーク偽造防止シール」をご覧になって、スキャンしてみたことはありますか？(N=6)

- 「はい」と回答した方: 4名
- 「いいえ」と回答した方: 2名

「日本産果実マーク偽造防止シール」の上の部分の...のコードで内容が異なることはご存知ですか？
6件の回答



「日本産果実マーク偽造防止シール」をご覧になって、スキャンしてみたことはありますか？
6件の回答



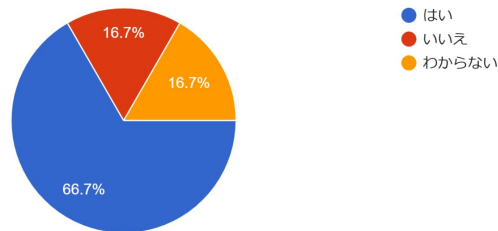
偽造防止部分と情報提供部分の目的、スキャン内容が異なる事への認識は半数程度に留まっており、啓蒙活動の強化と偽造防止部分のスキャンしやすさが必要と考えます。

アンケート項目ごとの回答結果

3. 現在、生産中、もしくは販売中の青果物において、既に海外にて海外産の同品種や偽物が出ていますか？(N=6)

- 「はい」と回答した方: 4名
- 「いいえ」と回答した方: 1名
- 「わからない」と回答した方: 1名

現在、生産中、もしくは販売中の青果物において...海外にて海外産の同品種や偽物が出ていますか？
6件の回答

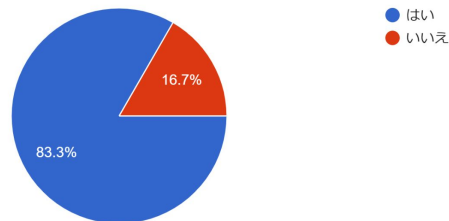


偽造品の存在は回答者の多くが認識、経験しており、特に輸出市場でのブランド保護の重要性が浮き彫りになっています。

4. 現在、貴社では今回の「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用していますか、使用の予定ですか？(N=6)

- 「はい」と回答した方: 5名
- 「いいえ」と回答した方: 1名

現在、貴社では今回の「日本産果実マーク偽造防止...ル」を使用していますか、使用の予定ですか？
6件の回答



半数以上の回答者がシールを利用しており、未使用者の理由としては「使用方法がわからない」「貼り付け等の作業ができない」という理由が挙げられました。

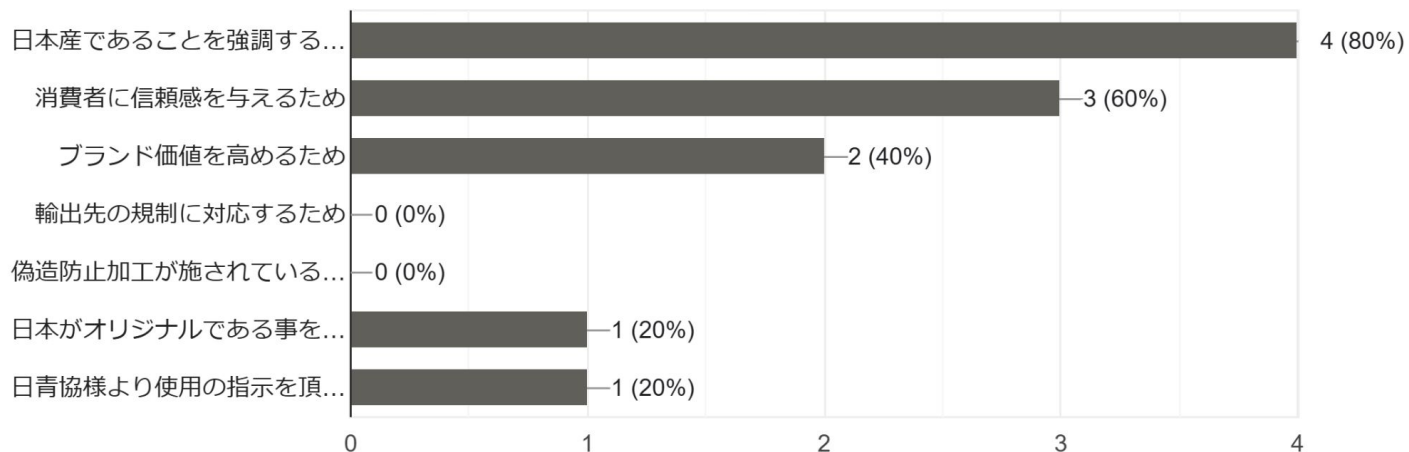
アンケート項目ごとの回答結果

5. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する理由を教えてください。(複数選択可)

「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する理由を教えてください。(複数選択可)

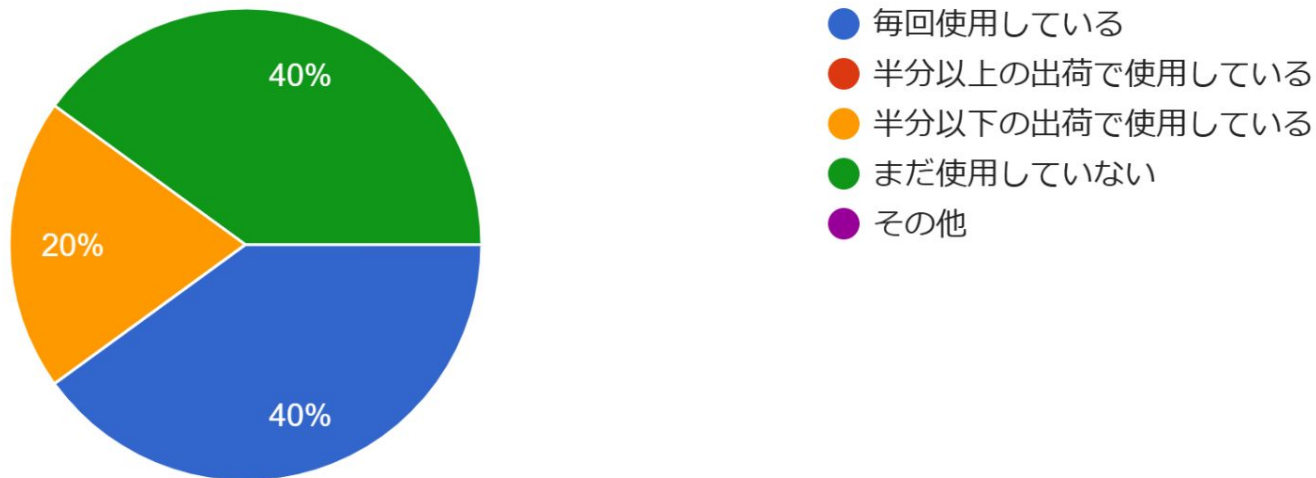
5件の回答



アンケート項目ごとの回答結果

「日本産果実マーク偽造防止シール」をどのくらい使用していますか？（2024年9月時点）

5件の回答



9月時点でまだ使用されていないところは、10月、11月に使用予定という返答をいただいていたいました。

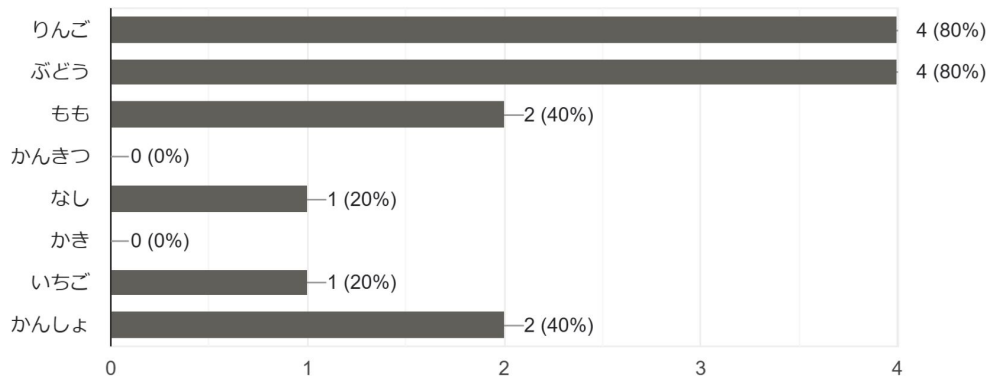
アンケート項目ごとの回答結果

7. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

「日本産果実マーク偽造防止シール」をどの青果物に使用する予定ですか？(複数選択可)

「日本産果実マーク偽造防止シール」をどの青果物に使用する予定ですか？(複数選択可)

5件の回答



具体的な品種、ブランド名は以下のとおりです。

ふじ、王林、トキ、シナノスイート、陸奥、世界一、シャインマスカット、クインニーナ、晴王、
あまりん 紅はるか、もも等

アンケート項目ごとの回答結果

8. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

どの国への輸出に「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する予定ですか？ どの国に何枚か教えてください。(複数あれば全てご記入ください)

- 一般社団法人青森県りんご対策協議会：香港／500枚、タイ／200枚、台湾／残量全て(19,300枚)
- 株式会社秀果園：フィリピン 1,500枚
- GLO-berryJapan株式会社：フランス 100枚ぐらい
- 山梨県果実輸出促進協議会：香港 768枚、シンガポール 1,536枚、マレーシア 1,536枚、台湾 768枚、タイ 768枚
- 株式会社アライドコーポレーション：タイ 250枚

■国別使用枚数(まとめ)

国	使用枚数	青果物
タイ	1,218	りんご, ぶどう, もも, なし
香港	1,268	りんご, ぶどう, もも
台湾	20,068	りんご, ぶどう, もも
シンガポール	1,536	ぶどう, もも
マレーシア	1,536	ぶどう, もも
フィリピン	1,500	りんご, ぶどう, いちご, かんしょ
フランス	100	りんご, ぶどう, かんしょ

アンケート項目ごとの回答結果

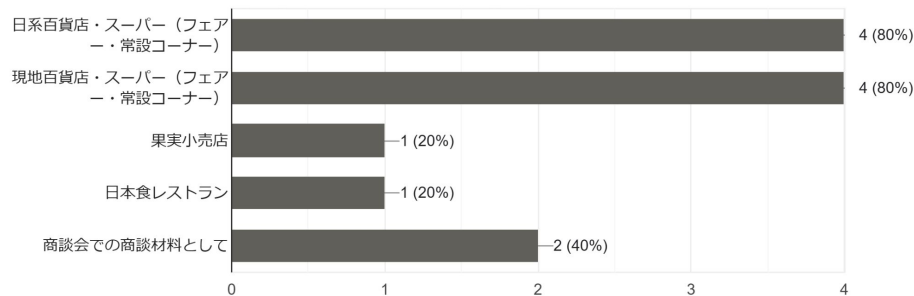
9. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

「日本産果実マーク偽造防止シール」に関して、どういったルートでの利用を想定していますか？(複数選択可)

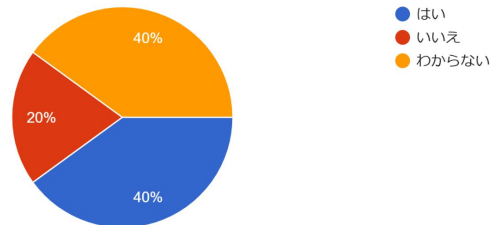
10. 上記の販売先の同じ店舗内に、同じ品種の海外産が販売されていることはありますか？

- 「はい」と回答した方: 2名
- 「いいえ」と回答した方: 1名
- 「わからない」と回答した方: 2名

「日本産果実マーク偽造防止シール」に関して、どういったルートでの利用を想定していますか？(複数選択可)
5件の回答



上記の販売先の同じ店舗内に、同じ品種の海外産が販売されていることはありますか？
5件の回答



アンケート項目ごとの回答結果

11. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

バイヤーから「日本産であることの証明」について求められていることはありますか？

- (現地業者・仲卸業者からのヒアリングから)台湾及びタイにおいては「必要性が低い」との回答。理由は偽物は出回っているものの消費者も偽物の存在を認知しており(品目りんごについては)日本産りんごすべてのブランディングに影響を及ぼすものではなく、むしろ偽物を扱う販売店側の問題ととらえるとの考えから。香港市場は偽物の出回りが多く販売する側にとっても日本産である証明を訴求できる点で求められている状況。
- 日本産であることの優位性を具体的に説明してほしい。品質とか安心安全等
- 香港での要望が多い(偽物が多いため)、他地域は要望自体は少ない

アンケート項目ごとの回答結果

12. 4の問いに「はい」とお答えいただいた方にお伺いします。(N=5)

「日本産果実マーク偽造防止シール」はどのような状況であれば、さらに使いやすいですか？(複数回答可)

- 貼り付け作業が簡易である場合、シール以外(フィルムや箱に印刷など)での利用が可能な場合店舗で商品毎に貼付するのは作業が大変
- 専用アプリを使用する点は仕方がないが、スキャン後のその先まで遠いと感じる
- シールのサイズが調整可能である場合
- QRコード(情報提供部分)のリンク先がカスタマイズ可能である場合

アンケート項目ごとの回答結果(自由回答欄)

- シール個体サイズが大き過ぎて使いづらい、不要な表記を省く等
- 他国産のシャインマスカットやふじと何が違うのかについては産地や生産者のこだわりが見える様になってくれば売りやすくなると
- 日青協マークシールと偽造防止シールの2枚を貼る必要があり、対応してくれる業者や現地の負担が大きい。ひとまとめにして少しでも作業を簡易にして欲しい。

■検討事項

- デザイン面での改善を検討
例: 併用する必要がないように日本産果実マーク部分を目立たせるようにする
- 情報提供部分のリンク先は変えられる(シールにはユニーク番号をふっているため、どの青果物に使うのがわかれば可能)ので、リンク先の情報を青果物に合わせたものにする

使用事例紹介

一般社団法人青森県りんご対策協議会 (回答より関連部分を抜粋して紹介)

- 現在、生産中、もしくは販売中の青果物において、既に海外にて海外産の同品種や偽物が出ていますか？
はい
- 現在、貴社では今回の「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用していますか、使用の予定ですか？
はい
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する理由を教えてください。(複数選択可)
日本産であることを強調するため、消費者に信頼感を与えるため、ブランド価値を高めるため
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどのくらい使用していますか？
毎回使用している
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどの青果物に使用する予定ですか？(複数選択可)
りんご
- 品種名、ブランド名などございましたら押してください。(複数あれば全てご記入ください)
ふじ、王林、トキ、シナノスイート、陸奥、世界一
- どの国への輸出に「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する予定ですか？
香港／500枚、タイ／200枚、台湾／残量全て
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」に関して、どういったルートでの利用を想定していますか？
日系百貨店・スーパー(フェア・常設コーナー)、現地百貨店・スーパー(フェア・常設コーナー)、果実小売店
- 上記の販売先と同じ店舗内に、同じ品種の海外産が販売されていることはありますか？
はい
- バイヤーから「日本産であることの証明」について求められていることはありますか？
香港での要望が多い(偽物が多いため)、他地域は要望自体は少ない

一般社団法人青森県りんご対策協議会

■香港



一般社団法人青森県りんご対策協議会

■香港(イオン)



一般社団法人青森県りんご対策協議会

■タイ

実施店舗及びスケジュール

No.	実施店舗	店舗形態	試食販売実施日数			
			2023 12/1-3	2023 12/23-24	2024 1/6-7	合計 (店舗ごと)
1	CL - Central Chidlom	Food Hall	3	2	2	7
2	CZ - Central East Ville	Food Hall	3	2	2	7
3	RX - Central Rama 9	Tops Market	3	2	2	7
4	BN - Central Bangna	Food Hall	3	2	2	7
5	PK - Central Pinklao	Tops Market	3	2	2	7
6	LP - Central Ladprao	Food Hall	3	2	2	7
合計			18	12	12	42



■台湾



山梨県果実輸出促進協議会 (回答より関連部分を抜粋して紹介)

- 現在、生産中、もしくは販売中の青果物において、既に海外にて海外産の同品種や偽物が出ていますか？
はい
- 現在、貴社では今回の「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用していますか、使用の予定ですか？
はい
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する理由を教えてください。(複数選択可)
日本産であることを強調するため、消費者に信頼感を与えるため
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどのくらい使用していますか？
毎回使用している
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどの青果物に使用する予定ですか？(複数選択可)
ぶどう, もも
- 品種名、ブランド名などございましたら押してください。(複数あれば全てご記入ください)
シャインマスカット、もも等
- どの国への輸出に「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する予定ですか？
香港 768枚、シンガポール 1536枚、マレーシア 1536枚、台湾 768枚、タイ 768枚
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」に関して、どういったルートでの利用を想定していますか？
日系百貨店・スーパー(フェアー・常設コーナー), 現地百貨店・スーパー(フェアー・常設コーナー)
- 上記の販売先の同じ店舗内に、同じ品種の海外産が販売されていることはありますか？
わからない
- バイヤーから「日本産であることの証明」について求められていることはありますか？
特になし

山梨県果実輸出促進協議会



株式会社アライドコーポレーション (回答より関連部分を抜粋して紹介)

- 現在、生産中、もしくは販売中の青果物において、既に海外にて海外産の同品種や偽物が出ていますか？
はい
- 現在、貴社では今回の「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用していますか、使用の予定ですか？
はい
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する理由を教えてください。(複数選択可)
日本産であることを強調するため、日青協様より使用の指示を頂戴しているため。
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどのくらい使用していますか？(2024年9月時点)
半分以下の出荷で使用している
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」をどの青果物に使用する予定ですか？(複数選択可)
りんご, ぶどう, もも, なし
- どの国への輸出に「日本産果実マーク偽造防止シール」を使用する予定ですか？
タイ250
- 「日本産果実マーク偽造防止シール」に関して、どういったルートでの利用を想定していますか？
日系百貨店・スーパー(フェアー・常設コーナー)
- 上記の販売先の同じ店舗内に、同じ品種の海外産が販売されていることはありますか？
いいえ
- バイヤーから「日本産であることの証明」について求められていることはありますか？
ない

株式会社アライドコーポレーション

■タイ



結論

本調査の結果、偽造防止処理を施した「日本産果実マーク」シールは輸出事業者の間で認知・活用が進んでいるものの、さらなる浸透と利便性向上が求められることが明らかになりました。

1. ブランド保護と偽造品対策の重要性

- 多くの輸出事業者が、海外市場における日本産青果物の模倣品や偽物の流通を認識しており、**ブランド保護の必要性を強く感じている**。
- 特に香港市場では、日本産であることの証明が求められる場面が多く、**偽造防止シールが信頼性向上に寄与することが期待される**。
- 日本産果実マークと偽造防止シールは、日本産青果物のブランド価値を証明するためのプロモーションの一環として、販売中の青果物に活用された。

2. 今後の課題と改善策

- **認知度向上** :シールの機能や目的についての理解を深めるため、利用者向けの説明資料や PR活動を強化する。
- **利便性の向上** :貼付作業の負担軽減や、**シール以外の代替手段(箱やフィルムへの印刷)** の検討を進める。
- **情報提供機能の強化** :QRコードのリンク先がカスタマイズ可能であることを周知し、**消費者や流通業者にとって利便性の高い情報提供を実現する**。

3. 日本産果実マークの浸透と輸出促進

- 日本産果実マークの認知が広がることで、「正規品の証」としての信頼性が向上し、ブランド価値が強化される。
- 模倣品の排除とブランド保護の強化が、日本産青果物の競争力向上につながり、輸出促進に貢献できる。
- 今後、偽造防止シールのさらなる活用と、日本産果実マークの認知拡大を進めることで、**海外市場における日本産青果物のブランド価値向上と輸出拡大を目指す**。